

Peregrine | AssetCenter

AssetCenter Web

© Copyright 2002 Peregrine Systems, Inc.

All rights reserved.

本書に記載されている情報は、Peregrine Systems, Incorporatedが所有し、Peregrine Systems, Inc.の書面による許可なく使用または開示することはできません。本書の一部または全部を、Peregrine Systems, Inc.の事前の書面による許可なく無断で複製することを禁じます。本書に記載されている商品名は、該当する各社の商標または登録商標です。

Peregrine Systems ®およびAssetCenter ®は、Peregrine Systems, Inc.の商標です。

本書で説明されているソフトウェアは、Peregrine Systems, Inc.とエンドユーザ間で締結されるライセンス契約に基づいて提供されます。契約の条項に従って、ソフトウェアを使用する必要があります。Peregrine Systems, Inc.は、本書の内容については一切の責任を負いかねます。また、本書の内容が予告なく変更されることもあります。本書の最終バージョンの日付を確認するには、Peregrine Systems, Inc.のカスタマサポートまでお問合せください。

デモ用データベースと本書の例に使用されている団体名および個人名は架空のものであり、本ソフトウェアの使用方法を説明するためのものです。現在、過去を問わず、実在する団体や個人とのいかなる類似もまったくの偶然によるものです。

この製品はApache Software Foundation (<http://www.apache.org>) により開発されたソフトウェアを含みます。

本書の内容は、ライセンス契約に基づくプログラムのバージョン4.1.0に適用されます。

AssetCenter

目次

| | |
|---|----|
| 1. はじめに | 7 |
| 概要 | 7 |
| 作動原則 | 8 |
| 本マニュアルについて | 10 |
| 表記法 | 10 |
| 2. AssetCenter Webのインストールと設定 | 13 |
| AssetCenterのインストール | 14 |
| Get-Itのインストールと設定 | 14 |
| 稼動環境 | 14 |
| 準備 | 15 |
| AssetCenter Webのインストール | 16 |
| 3. AssetCenter Webの管理 | 33 |
| 管理モジュールの使用 | 33 |
| 管理モジュールへのアクセス | 34 |
| 必須パラメータ | 35 |
| 4. AssetCenter Webの使用 | 37 |
| インタフェース | 37 |

| | |
|---|----|
| AssetCenter Webへの接続 | 37 |
| メインメニュー | 38 |
| 参照ウィンドウ | 38 |
| ツールバー | 38 |
| AssetCenter Web画面で使用可能なアイコン | 39 |
| 接続の切断 | 39 |
| デフォルトのウェブリケーション | 39 |
| 資産、および部署と従業員に関連する機能 | 40 |
| 契約の管理、コスト管理、および作業指示の管理に関連する機能 | 40 |
| 機能例 | 41 |
| 表示されるデータ | 44 |
| ライブデータ | 44 |
| セキュリティで保護されたデータ | 45 |

図の一覧表

| | |
|--------------------------------|----|
| 2.1. CDのブラウザインタフェース | 16 |
| 4.1. 検索条件に一致する資産のリスト | 43 |

1 | はじめに

本マニュアルでは、AssetCenter Webをインストールし、使用方法を詳しく説明します。

AssetCenter Webを導入すると、AssetCenterデータベースのユーザはインターネットブラウザ経由でデータベースにアクセスし、既定の操作（ユーザが担当するヘルプデスクチケットを表示する、など）を実行できるようになります。

このバージョンのAssetCenter Webは、AssetCenter 4.1.0用に設計されています。

概要

AssetCenter Webは、従業員一人一人がインターネットブラウザを使ってAssetCenterデータベースのデータにアクセスすることを可能にします。

ユーザは自分が持つ権限に応じて、AssetCenterデータベースに対して様々な操作（読み取り、作成、変更、削除など）を実行できます。実行可能な操作は、セキュリティ上の理由から、簡単な操作（資産レコードの表示など）に限定されています。

AssetCenter Webでは、主に以下の3つの利点があります。

- 大多数のイントラネット/インターネットサイトが固定データを提供するのに対し、AssetCenter Webは動的なデータを提供します。AssetCenter Webユー

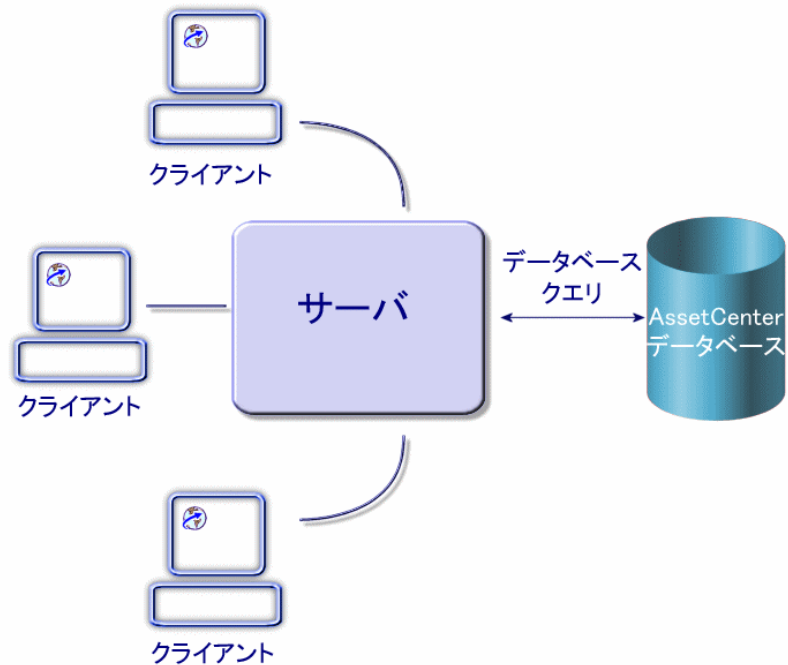
ザの画面には、AssetCenterデータベースのニュースが表示されます。
AssetCenter Webは、ニュースを含むページをリアルタイムで生成します。

- AssetCenter Webは、ユーザがAssetCenterデータベースへインタラクティブにアクセスすることを可能にします。この結果、ユーザは以下の操作をリアルタイムで実行できます。
 - データベースクエリ、ユーザプロフィールなどの条件に応じて、AssetCenterデータベースの一部のデータまたは全データを参照する。
 - データを検索する。例えば、ユーザは自分に割当てられた作業指示をトラッキングすることができます。
 - データを変更または削除する。例えば、一部のユーザはポートフォリオに登録されている資産に関する特定の情報を変更することができます。
- AssetCenter Webは、AssetCenter Web経由のAssetCenterデータベースへの全アクセスを制御します。

作動原則

AssetCenter Webは、Get-Itテクノロジーを用いた様々なウェブアプリケーション（Weblication、Web対応のアプリケーション）を集結するアプリケーションです。Get-Itのアーキテクチャ（およびAssetCenter Webのアーキテクチャ）は、以下の目的で設計されています。

- 企業的全従業員に様々なサービスを提供する。
- ユーザがどこからでもサービスにアクセスできるようにする。
- ユーザが既定のタスクを迅速に達成することを助ける。



AssetCenter Webソリューションをインストールするには、以下のコンポーネントをインストールし、設定する必要があります。

- Windows NTまたはWindows 2000で提供されているWebサーバ（IIS）
- JRE（Java Runtime Environment）
- JRun（Javaサーバ）
- AssetCenter
- Get-It（AssetCenter Webのウェブアプリケーション用に特別に設定されたバージョン）



注意:

AssetCenter Webのウェブアプリケーションには、最も広く使用される機能が既に含まれています。Get-It Studioを使って、他のウェブアプリケーションを開発したり、既存のウェブアプリケーションをカスタマイズしたりすることも可能です。Get-It Studioの使用に関しては、Get-It Studioのマニュアルを参照して下さい（現在英語版のみ入手可能）。

本マニュアルについて

本マニュアルは、AssetCenter Webをインストール、設定、管理する管理者、およびAssetCenter Webの一般ユーザを対象としています。

管理者の方は、本マニュアルの全章、およびGet-Itのマニュアル全てをお読み下さい。

一般ユーザの方は、以下の章をお読み下さい。

- 第1章 - はじめに
- 第3章 - AssetCenter Webの使用

注意:

他の章を必ずしも読む必要はありません。

表記法

本マニュアルでは、以下の表記法が使用されています。

| 表記法 | 説明 |
|----------------|---------------------------|
| コード | コードやコマンドの例 |
| Courrier体のテキスト | DOSコマンド、関数のパラメータ、およびデータ形式 |
| ... | コードまたはコマンドの省略 |

| 表記法 | 説明 |
|----------------------|---------------------|
| 注意: 補足情報 | 注意事項 |
| 重要項目: 注意してください... | ユーザ向けの重要な情報 |
| ヒント: ヒント... | ヒント |
| 警告: 警告 | ユーザに対する警告情報 |
| [オブジェクト名] | フィールド、タブ、メニュー、キー名など |

他に以下の表記法も使われています。

- 特定の順序で実行する必要がある手順は、以下の例のように番号付きリストで記述されています。
 - 1 ステップ1
 - 2 ステップ2
 - 3 ステップ3 (この場合、最終ステップ)
- 本マニュアルに記載されている図や表は、対応する章番号と記載順に応じて番号付けられています。例えば、第2章に記載されている4番目の表は、「表 2-4」と番号付けられます。

2 | AssetCenter Webのインストールと設定

本章では、AssetCenter Webを最適な方法でインストール、設定する方法を各段階を追いながら説明します。以下のコンポーネントをインストール、設定します。

- AssetCenter
- Get-It
- AssetCenter Webウェブアプリケーション
- (場合に応じて) AssetCenter

重要項目:

管理者の方は、本章を必ず読んで下さい。一般ユーザの方は、本章を必ずしも読む必要はありません。一般ユーザは、URL (Webアドレス) を使ってインターネットブラウザ経由でAssetCenter Webの機能にアクセスできます。

 **警告:**

AssetCenter Web 3.60 sp1を既にご使用の場合は、必ずこのバージョン0をアンインストールしてから、AssetCenter Web 4.1.0をインストールする必要があります。Get-Resources 2.0.1が既にインストールされている場合、AssetCenter Web 4.1.0のインストールプログラムはGet-Resources 2.0.1を探知し、AssetCenter Web 4.1.0 ウェブ리케이션をGet-Resources 2.0.1のウェブ리케이션に追加して更新を実行します。

AssetCenterのインストール

AssetCenterのインストールおよび設定に関しては、AssetCenter付属のインストールガイドを参照して下さい。

Get-Itのインストールと設定

本節では、Get-ItとGet-Itの各コンポーネントをインストール、設定する方法を説明します。以下のコンポーネントをインストールします。

- JRE (Java Runtime Environment)
- JRun 3.1 (Javaアプリケーションサーバ)
- Get-ItとGet-It Studio (Get-Itのカスタマイズ用アプリケーション)

以下で説明する手順は、Get-Itで提供されているデフォルトのJavaサーバ (JRun)、およびWebサーバ (IIS) に関する手順です。従って、別のWebサーバやJavaサーバを使う場合は、本マニュアルでの指示を適用することはできません。

稼動環境

ここでは、WindowsでGet-Itをインストールするためのハードウェアとソフトウェアに関連する必要条件を説明します。以下の必要条件が満たされていることを確認してから、インストールを実行して下さい。

ハードウェアに関する必要条件

- 400Mhz以上のPentium II、最低256MBのRAM
- 最低150MBの空き領域のあるハードディスク

ソフトウェアに関する必要条件

- Microsoft Windows NT 4.0 Server、Windows NT Workstation、またはWindows 2000
- Microsoft Internet Information Server (IIS) 4.0 (MicrosoftのWebサイトからダウンロード可能)

注意:

Windows NT Workstationは、Personal Web Server (PWS) アプリケーションを使用します (Internet Information ServerはWindows NT Serverでのみ稼動)。Windows NTをご使用の場合は、Microsoftライセンスでこのプロダクション環境ではServerバージョンを使用するよう要求されます。

準備

Get-Itをインストールする前に、以下の事項を確認して下さい。

- 1 お使いのサーバにJREがインストールされていますか？Get-ItのインストールCDには、Allaire Java 2 Runtime Environment 1.3が含まれています。1.3より古いバージョンのJREをご使用の場合は、Get-Itをインストールする前にこの旧バージョンを必ずアンインストールして下さい。
- 2 お使いのサーバにWebサーバがインストールされていますか？Get-ItのインストールCDには、JRun3.1が含まれています。3.1より古いバージョンのJRunをWebサーバとしてご使用の場合は、Get-Itをインストールする前にこの旧バージョンを必ずアンインストールして下さい。
- 3 IISスクリプトのディレクトリの完全パスは何ですか？デフォルト値は、一般に次の通りです。

```
c: /inetpub /scripts
```

完全パスを確認し、書き留めておいて下さい。JRunを設定する際に必要になります。

警告:

オペレーティングシステムズの制約により、JRE、JRunおよびGet-Itの各インストールパスは、8文字を超えてはいけません。8文字を超えると、JavaサーバはJavaのダイナミックライブラリおよびペレグリンシステムズのダイナミックライブラリを正しく読み込むことができません。JRE、JRunおよびGet-Itは、必ずハードドライブのルートにインストールして下さい。1つでも長いパスを指定すると、ウェブアプリケーションのページが正しく表示されないことや、全く表示されないことがあります。

AssetCenter Webのインストール

AssetCenter Webの完全インストールでは、以下の3つのステップを順番どおりに踏む必要があります。

- 1 Java 2 Runtime Environment (JRE) をインストールする。
- 2 WebサーバでJRun 3.1をインストール、設定する。
- 3 Get-Itをインストールする。

注意:

インストール時に、仮想ディレクトリ「getit」がWebサーバ（IISまたはPWSのみ）上に自動的に作成されます。

ステップ1 - JREをインストールする

- 1 AssetCenter WebのCD-ROMを挿入します。インストールプログラムが自動的に起動されます。CDを挿入してもインストールプログラムが起動しない場合には、CD-ROM内で、「autorun.exe」ファイルを検索します。このファイルをダブルクリックすると、インストールプログラムが起動され、CDのブラウザインタフェースが表示されます。

図 2.1. CDのブラウザインタフェース



- 2 【 Install Java 2 Runtime Engine 】 (Java 2 Runtime Engineのインストール) をクリックします。まずJavaの splash スクリーンが表示され、次にユーザライセンスの画面が表示されます。
- 3 ライセンスを注意深く読んでから、【 Yes 】 (はい) をクリックしてライセンスの条項に同意します。次にウィザードは、JREのインストール先ディレクトリを選択するよう要求してきます。



- 4 デフォルトのパスを編集するには【 Browse 】 (参照) をクリックして、ハードディスクのルートに位置付けられているディレクトリを選択します。【 Next 】 (次へ) をクリックします。

注意:

以下の例のように、JREをハードディスクのルートにインストールすることをお奨めします。

`C:\jre`

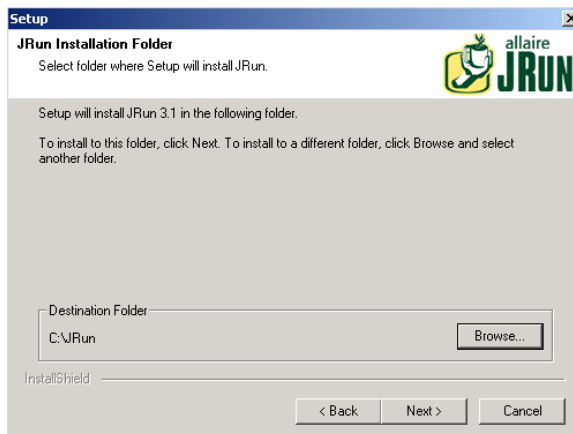
ウィザードはJREのインストールを実行します。インストールの実行ステータスを示すメッセージが表示されます。インストールに成功すると、CDのブラウザインタフェースが再度表示されます。

ステップ2 - JRun 3.1のインストール

- 1 【 Install JRun 3.1 】 (JRun 3.1のインストール) をクリックします。JRunの splash スクリーンが表示されます。
- 2 【 Next 】 をクリックします。ユーザライセンスの画面が表示されます。
- 3 ライセンスを注意深く読んでから、【 Yes 】 をクリックしてライセンスの条項に同意します。次にウィザードは、シリアル番号を入力するよう要求して

きますが、このフィールドは空欄にします。Get-ItのインストールプログラムがJRunのライセンスを自動的にインストールします。

- 4 **[Next]** をクリックします。ウィザードは、JRunのインストール先ディレクトリを選択するよう要求してきます。



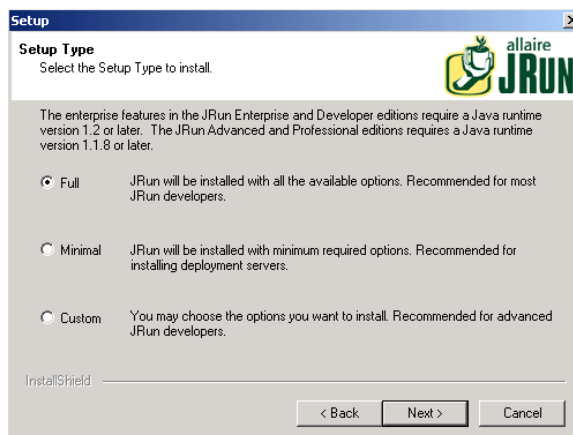
- 5 デフォルトのパスを編集するには **[Browse]** をクリックして、ハードディスクのルートにあるディレクトリを選択します。 **[Next]** をクリックします。

警告:

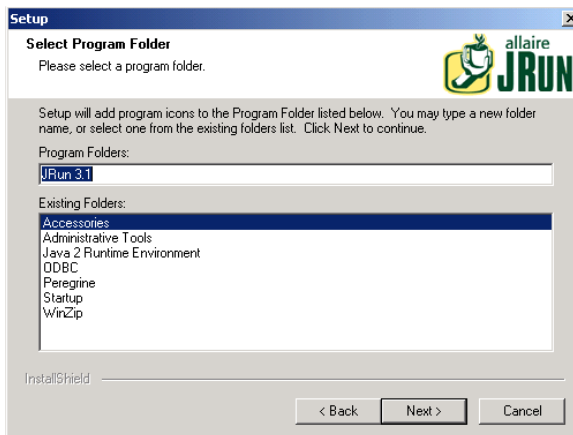
以下の例のように、必ずハードディスクのルートにJRunをインストールして下さい。

`c:\jrun`

- 6 ウィザードは、JRun用のインストールタイプを選択するよう要求してきます。



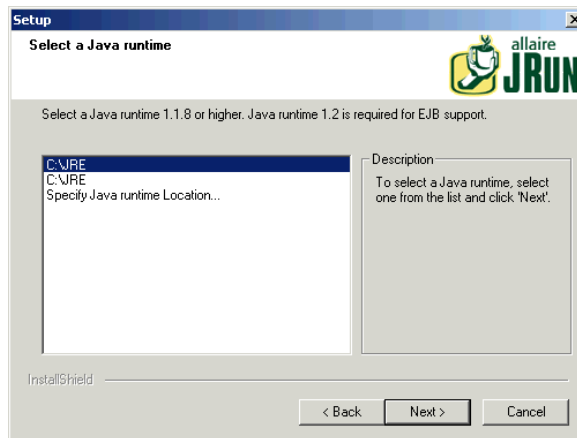
- 7 【Full】（完全）オプションが選択されていることを確認し、【Next】をクリックします。ウィザードは、JRunのインストール先プログラムグループを選択するよう要求してきます。



- 8 【 Next 】をクリックします。ウィザードはJRunのインストールを実行します。インストールに成功すると、CDのブラウザインタフェースが再度表示されます。

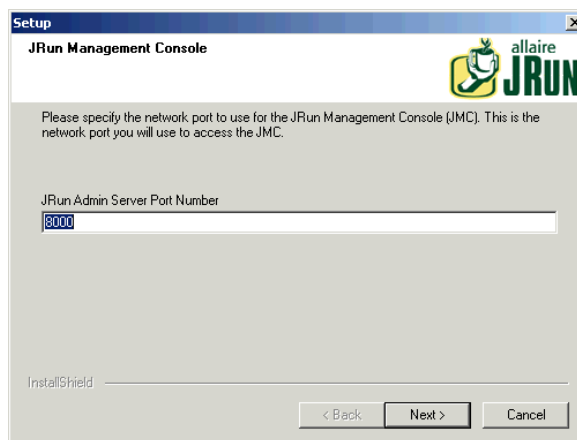


- 9 【 Install JRun Services? 】（ JRunサービスのインストール）オプションが選択されていることを確認し、【 Next 】をクリックします。ウィザードは、JRunと共に使用するJREを選択するよう要求してきます。

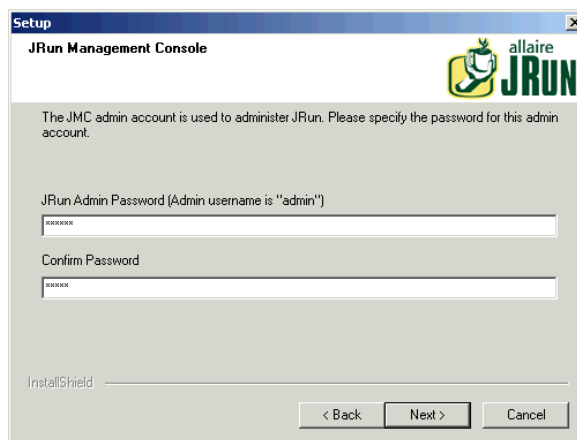


- 10 ステップ1でインストールされたJREを選択し、【 Next 】をクリックします。【 JVM Advisor 】ダイアログボックスに、Java仮想マシン（ Java Virtual Machine 、 JVM ）を設定するために必要なパラメータに関する情報が表示されます。

- 11 【Next】をクリックします。JRunのサービス管理コンソールが表示されます。JRunのサービス管理コンソールにアクセスするために使用するポートを指定します。デフォルトのポートは、「8000」です。



- 12 【Next】をクリックして、デフォルトのポートを確定します。ダイアログボックスが表示され、JRun Management Console用のパスワードを指定するよう要求してきます。



- 13 【JRun Admin Password】フィールドにパスワード入力し、同パスワードを確認入力します。【Next】をクリックします。このパスワードは、インストールプロセスで後から必要になるので記憶しておいて下さい。

複数のメッセージが表示された後に、製品情報の画面が表示されます。

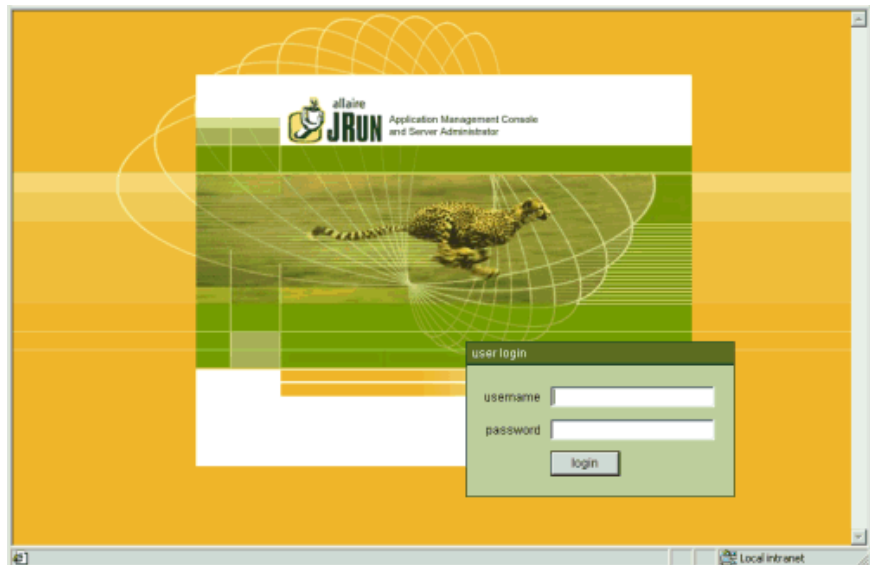
- 14 Allaireから更新情報を受け取りたくない場合は、対応するオプションをオフにして下さい（オプションは、デフォルトで選択されています。）。【Next】をクリックします。

ダイアログボックスが表示され、Webサーバに接続するためにJRunをすぐに設定するか、もしくは後で設定するかを尋ねてきます。

- 15 【Configure Now】（今設定）を選択します。

JRun Admin ServerとDefault Serverが起動されたことを通知するメッセージが表示されます。

Webブラウザが起動し、JRun Management Consoleのログインウィンドウが表示されます。



次のステップに進んで、AssetCenter Webのインストールを続行します。

ステップ3 - JRunの設定

ここでは、WebブラウザへのJRun接続を設定します。

- 1 Management Consoleに接続します。「admin」をユーザ名として使用し、JRunのインストール時に入力したパスワードを入力します。【Login】をクリックします。
- 2 【Connection Wizard】ページをクリックします。

- 3 設定ウィザードのステップ1：【JRun Default Server】をクリックします。
【Web Server Type】フィールドのドロップダウンリストから、Webサーバを選択します（Windows NT WorkstationではPersonal Web Serverを選択し、Windows NT ServerではIISを選択します）。



IISを選択する場合は、IISのバージョンも選択します。

- 4 【Next】をクリックします。
Webサーバを停止してから続行するよう要求するメッセージが表示されます。【OK】をクリックしてから、以下の操作を行います。
- Windowsのスタートメニューから【設定/コントロールパネル/管理ツール】を選択し、【サービス】アイコンをダブルクリックします。
 - 「IIS Admin」サービスを終了します。WWW Publishingおよびその他のIISサービスを終了するかどうかを尋ねる画面が表示されたら、【OK】をクリックします。
- 5 設定ウィザードのステップ2：【JRun Server Connector Port】フィールドに「8083」と入力します（または、不使用のポート番号）。以下のポートは、JRunが既に使用しているので、ここでは使用しないで下さい。
- 8000 : Admin Server

- 8100 : Default Server



- 6 【Next】をクリックします。
- 7 設定ウィザードのステップ3：【PWS scripts Directory】フィールド、または【IIS scripts Directory】フィールドで、JRun Connection Moduleのインストール先ディレクトリのパスを入力します。または、【Browse】をクリックしてディレクトリを選択します。デフォルトのディレクトリは、次の通りです。

`C:/inetpub/scripts/`

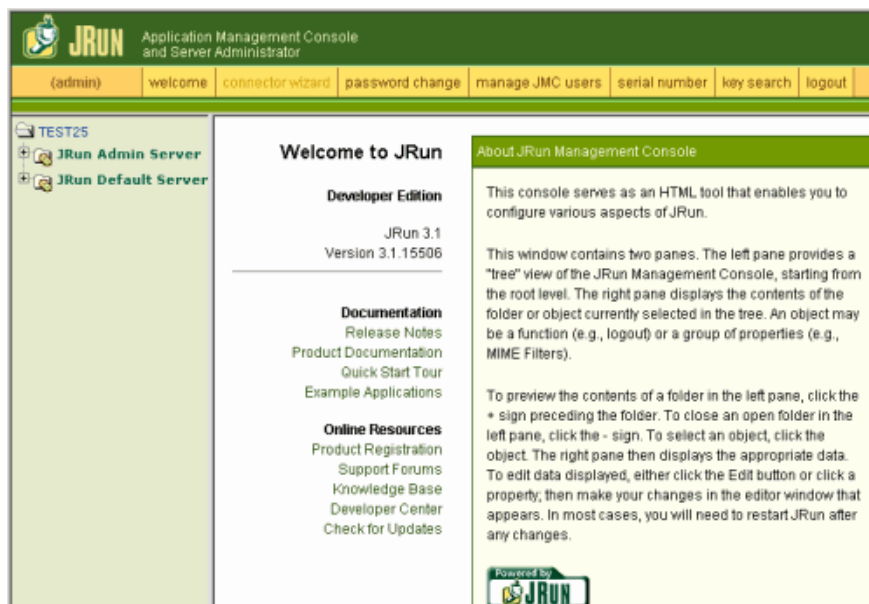
【Install as a Global Filter】オプションが選択されていることを確認します。



- 8 【Next】をクリックします。

- 9 設定ウィザードのステップ4：Webサーバ用のコネクタが正しくインストールされたことを通知するメッセージが表示されたら、【 Finish 】をクリックします。

JRun Management Consoleのメインスクリーンが表示されます。



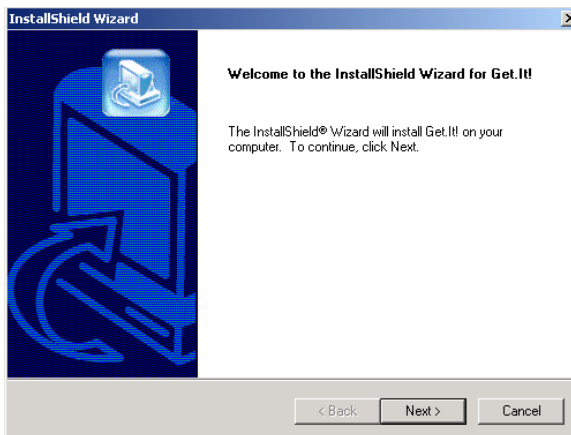
- 10 「Quick Start Product Tour」を閉じてから、【 Logout 】をクリックします。Webブラウザを閉じます。

CDのブラウザスクリーンが表示されます。

インストールを完全に実行するには、AssetCenter Webをインストールし、適切なウェブアプリケーションをコピーする必要があります。AssetCenter Webは、選択されたウェブアプリケーションを含むインストール用に新規プロジェクトを自動的に作成します。

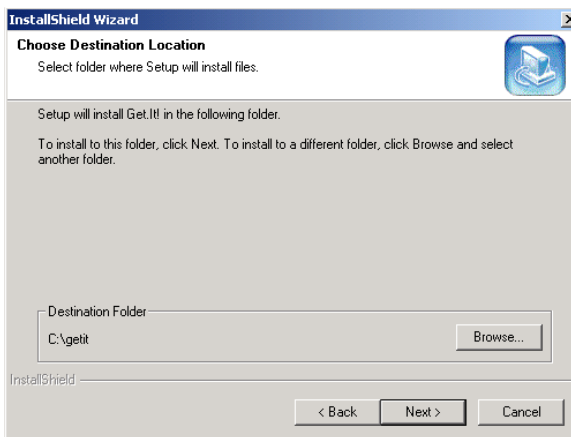
ステップ4 - AssetCenter Webのインストール

- 1 ブラウザインタフェースで、 [Install AssetCenter Web 4.1.0] をクリックします。



- 2 [Next] をクリックします。
[Choose Destination Folder] ダイアログボックスが表示されます。デフォルトのインストール先ディレクトリは次の通りです。

C:\getit



- 3 デフォルトのディレクトリを確定する場合は、【Next】をクリックします。または、【Browse】をクリックして他のディレクトリを選択してから、【Next】をクリックします。

警告:

AssetCenter Webは必ず ルートにインストールして下さい。

例

C:\getit

JRunとWWW Publishing Serviceが停止されたことを通知するメッセージが表示されます。次に、AssetCenter Webがインストールされます。

ファイルが正しくインストールされたことを通知するメッセージが表示されます。次にJRunを選定するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。

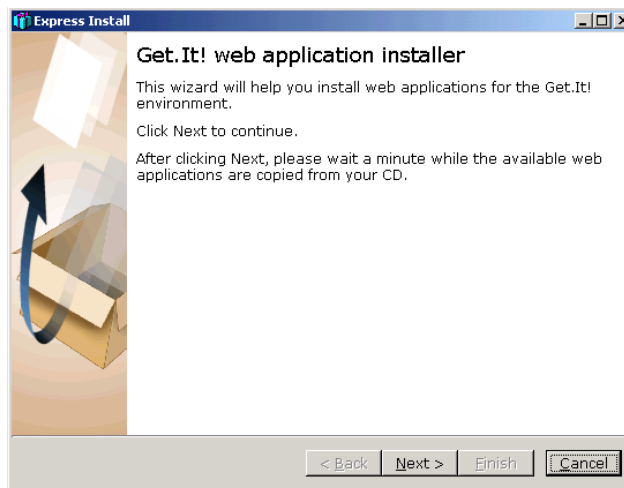
- 4 【Yes】をクリックします。

Get-It用にJRunが設定され、JRunライセンスが自動的にインストールされます。

インストールプログラムがウェブリケーションをインストールするために、ウィザードを起動することを通知するメッセージが表示されます。

- 5 【OK】をクリックします。

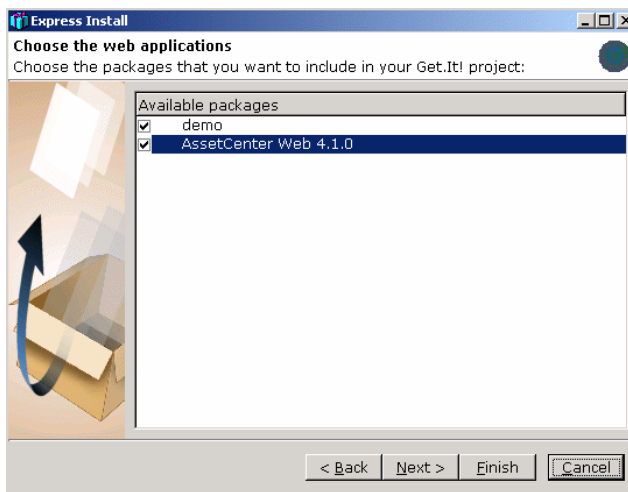
【Get-It Weblication Installer】画面が表示されます。



- 6 【Next】をクリックします。CDに含まれているウェブリケーションがコピーされます。

ウェブアプリケーションがコピーされると、【Choose the Weblications】ダイアログボックスが表示されます。

ウェブアプリケーションのリストには、デモ用ウェブアプリケーションが含まれています。デモ用ウェブアプリケーションをインストールし、デカスタマイズする方法については、『Get-It Tailoring Guide』を参照して下さい。

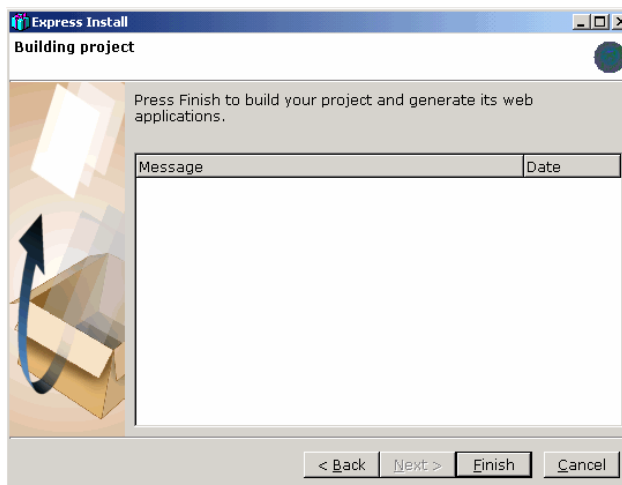


 **注意:**

Get-Resources 2.0.1を既にお使いの場合は、ウェブアプリケーションのリストにGet-Resources 2.0.1が表示されます。

-
- 7 インストールするウェブアプリケーションを選択してから、【Next】をクリックします。

プロジェクトをビルドする準備ができたことを通知するダイアログボックスが表示されます。



8 プロジェクトの言語を選択します。

- 英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語
- 日本語と英語
- ポーランド語と英語

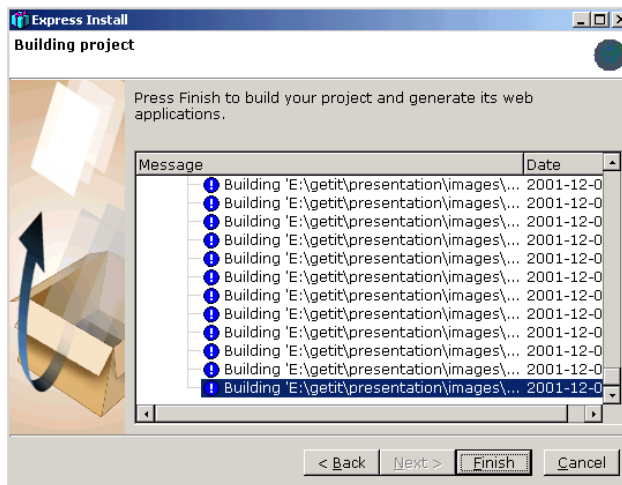
以下の言語の組み合わせを選択できます。



9 【Finish】をクリックします。

ビルドが進行すると同時に確認メッセージが表示されます。ビルドプロセスには、数分かかる可能性があります。

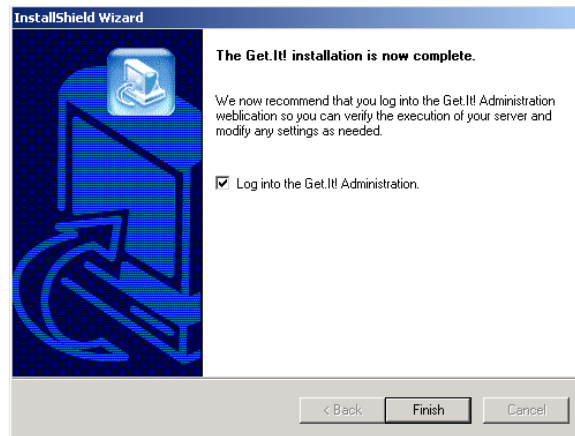
プロセスが完了すると、ビルドに成功したことを通知するメッセージが表示されます。



10 【Finish】をクリックします。

インストールが完了したことを通知するダイアログボックスが表示されます。インストールに成功したことを確認するために、システムはWebブラウザを起動し、Get-It Administrationページを表示します。このページでは、AssetCenter Webのシステムの管理者パラメータを確認することもできます。必要に応じて、パラメータを変更することも可能です。

管理モジュールにアクセスしない場合は、オプションをオフにします。



11 [Finish] をクリックします。

Webブラウザが起動され、管理ページ (admin.jsp) が表示されます。
これでAssetCenter Webのインストールが完了しました。

3 | AssetCenter Webの管理

本章では、AssetCenter Webの管理に関する情報が記載されています。

AssetCenter Webの管理モジュールでは、特にAssetCenter Webのウェブリケーション経由でユーザが使用するAssetCenterデータベースへの接続を宣言します。管理モジュールでは、AssetCenter Webの使用に関連する全てのパラメータを設定できます。

管理モジュールの使用

AssetCenter Webの管理モジュールの使用目的は、次の通りです。

- Get-Itとバックエンドシステム（この場合、AssetCenter）間の接続をモニタする。
- Get-Itサーバのアクティビティを記録するサーバログを表示する。
- Archway設定ファイル（「archway.ini」ファイル）のパラメータを表示する。
- ECMAスクリプトを起動、および終了する。
- メッセージキューを表示する。

管理モジュールへのアクセス

管理モジュールにアクセスするには、管理者としてログインする必要があります。

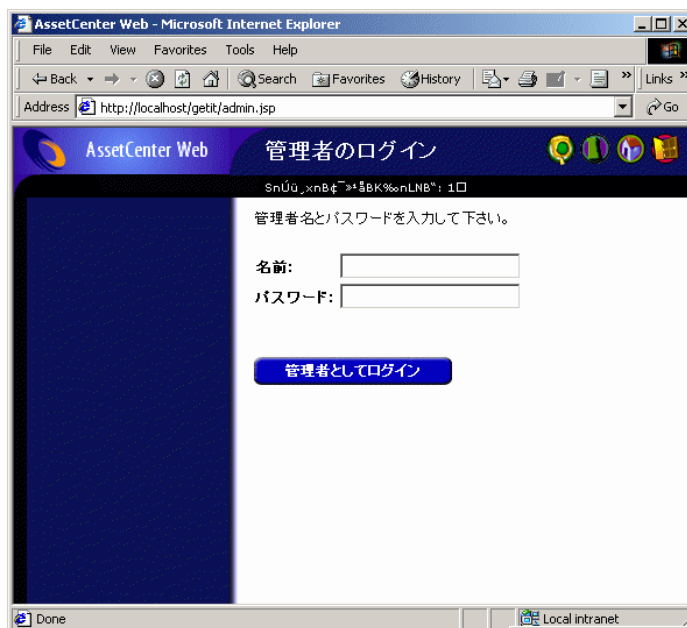
- 1 お使いのブラウザの画面で、以下のURLを入力します。

`http://<localhost>/getit/admin.jsp`

 **注意:**

<localhost>には、お使いのGet-Itのサーバ名を入力します。

- 2 入力したURLを確定します。
- 3 ブラウザの画面に、管理モジュールのホームページが表示されるのを待ちます。



ナビゲーションフレームで使用可能な機能は、以下の通りです。

- コントロールパネル：バックエンドシステムへの接続ステータスを確認できます。
- サーバログ：Get-Itサーバのアクティビティを表示できます。
- パラメータ：アプリケーションのオプションを設定できます。

- スクリプトのステータス：実行したスクリプトの名前とステータスを表示できます。スクリプトの名前をクリックすると、そのスクリプトを有効または無効にできます。
- メッセージキュー：未転送のデータを含むキューを表示できます。
- キューのステータス：キューのステータスを確認または変更できます。

重要項目:

Get-Itサーバの完全管理については、Get-Itのマニュアルを参照して下さい。

必須パラメータ

設定パラメータの中には、ユーザ用にAssetCenter Webを設定するために使用されるものがあります。このようなパラメータは、管理モジュールメニューの【設定】セクションで設定できます。

AssetCenter Webで使用するデータベースの名前を定義する

AssetCenter Webで使用するデータベースの名前を定義するには、【AssetCenter アダプタの設定】セクション内のオプションを設定します。【データベース】フィールドでは、データベースを選択します。

ロケールを定義する

【標準実行オプション】セクションで、【ロケール】オプションの値を設定します。

このオプションは、ユーザの国で使用可能な言語およびその地域特有の表記を定義する対応ロケールのリストを含みます。ロケールはカンマ(,)で区切って指定します。またロケールを指定すると、ユーザのWebブラウザが、その地域の言語と日付形式、および通貨に設定されます。最初の値は、デフォルトのロケールを定義します。ロケールは、ISO-639言語コード、およびISO-3166国コード(任意)をアンダスコア(_)でつなげて指定します。例えば、「en」または「fr」だけの場合は、それぞれ英語またはフランス語に対応することを意味します。「en_US」および「en_GB」の場合は、さらにその地域の表記情報が加わるため、日付形式が米国の場合は「月/日/年」、英国の場合は「日/月/年」になります。「en,fr,de,it」と指定すると、1つのインストールで英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語の全言語を使用できます。

AssetCenter Webページへのアクセス権限を定義する

[標準実行オプション] セクションで、[アクセス権限] オプションの値を設定します。

このオプションは、プロフィールに関係なく全てのユーザが持つアクセス権限のリストを含みます。以下の値を使用すると、全てのユーザが様々なモジュールにアクセスできるようになります。

```
portalDB(getit.portal); ac(acw.asset;acw.assetscan;acw.imac;  
acw.workorder;acw.budget;acw.employee;acw.contract)
```

注意:

全ユーザが1モジュールにのみ（例：「従業員」モジュール）アクセスできるように設定するには、「acw.employee」権限のみをアクセス権限のリストに含めません。個人ごとにアクセス権限を管理するには、各ユーザのプロフィールを別々にカスタマイズする必要があります。

設定を確定する

上記のパラメータを設定し終わると、以下の操作を実行します。

- 1 管理モジュールの [設定] ページで、[保存] ボタンをクリックします。
- 2 [コントロールパネル] メニューをクリックし、表示されるページで [サーバのリセット] をクリックします。

4 | AssetCenter Webの使用

本章の内容は次の通りです。

- AssetCenter Webウェブリケーションのインターフェース
- AssetCenter Webの標準アプリケーションの機能

インターフェース

AssetCenter Webへの接続

AssetCenter Webに接続するには、次の手順に従います。

- 1 お使いのブラウザの画面で、以下のURLを入力します。

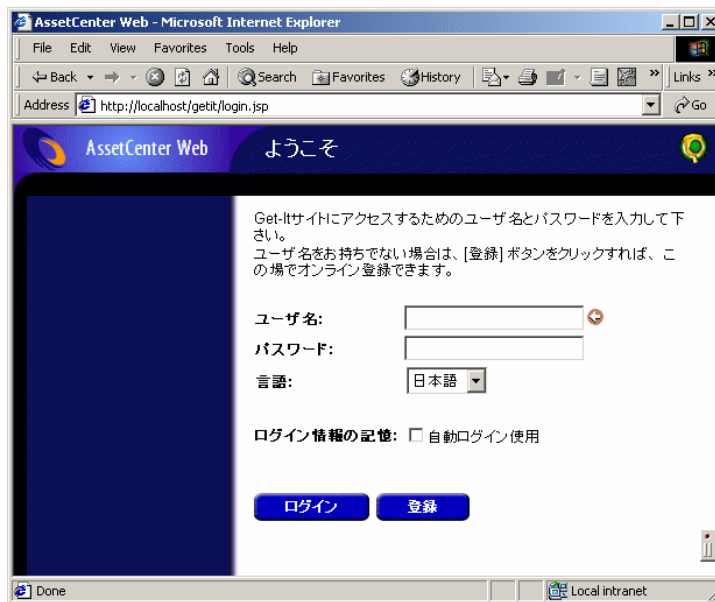
`http://<localhost>/getit/login.jsp`

 **注意:**

<localhost>には、お使いのGet-Itのサーバ名を入力します。

- 2 入力したURLを確定します。

- 3 ブラウザの画面で、AssetCenter Webのホームページが表示されるのを待ちます。



メインメニュー





AssetCenter Web画面の左パネルには、使用可能な全ウェブリケーション（Weblication、Web対応のアプリケーション）のリストが表示されます。メニューエントリをクリックすると、対応するウェブリケーションのページにアクセスできます。

参照ウィンドウ

AssetCenter Web画面の右パネルには、検索結果、レコードの変更事項などの情報が表示されます。



ツールバー

以下の一覧表は、ツールバーに表示されるアイコンとその機能を示しています。


| アイコン | 機能 |
|---|--|
|  | このアイコンを使うと、AssetCenter Webのホームページに戻ることができます。 |
|  | このアイコンを使うと、AssetCenter Webのセッションを終了できます。 |
|  | このアイコンを使うと、ホームページをカスタマイズできます（AssetCenter Webのホームページでのみ使用可能）。 |
|  | このアイコンを使うと、コンテキストに応じてアクションを実行できます（変更事項の保存、検索の実行、接続など）。 |

AssetCenter Web画面で使用可能なアイコン

各ウェブアプリケーションのページで、以下のアイコンを使用することができます。

| アイコン | 機能 |
|---|-----------------|
|  | リンクの詳細情報を表示します。 |
|  | 日付の選択画面を表示します。 |

接続の切断

接続を切断するには、AssetCenter Webのツールバーで  アイコンをクリックします。

デフォルトのウェブアプリケーション

AssetCenter Webの標準バージョンでは、簡単な一連の機能が提供されています。このような機能にアクセスするには、次の手順に従います。

- AssetCenter Web経由でデータベースに接続します。
- メインメニューで、希望する機能に対応するメニューエントリをクリックします。

選択した機能に応じて、以下の情報を含む画面が表示されます。

- AssetCenterデータベースのデータ
- データの選択リスト（このリストでは、AssetCenterデータベースのデータを選択できます。）
- テキストの入力ゾーン

**注意:**

次節では、AssetCenter Webで使用可能な標準機能を説明します。資産レコードの参照機能（本マニュアルで後記）の使用方法は、その他の機能の使用方法に類似しています。

資産、および部署と従業員に関連する機能

標準ソフトウェアパッケージでは、以下のウェブアプリケーションが提供されています。

- 資産：このウェブアプリケーションでは、ポートフォリオに登録されている資産のレコードを検索し、詳細情報を表示することができます。
- IMAC：このウェブアプリケーションでは、資産の詳細情報に含まれている次のフィールドを変更することができます。
 - ステータス
 - 割当
 - 導入日
 - ユーザ（使用者）
 - 在庫
 - 親資産
 - 場所
 - コメント
- 従業員：このウェブアプリケーションでは、従業員のレコードを検索できます。また、検索された従業員レコードの詳細情報、および同従業員が使用する資産のリストを表示し、電話番号やコメントなどの情報を更新することもできます。
- コンピュータ：このウェブアプリケーションでは、資産の物理データを表示し、コンピュータの詳細情報に含まれている次のフィールドを変更できます。このウェブアプリケーションでは、**[前回のスキャン]**時にスキャンされたコンピュータのリストを参照できます。

契約の管理、コスト管理、および作業指示の管理に関連する機能

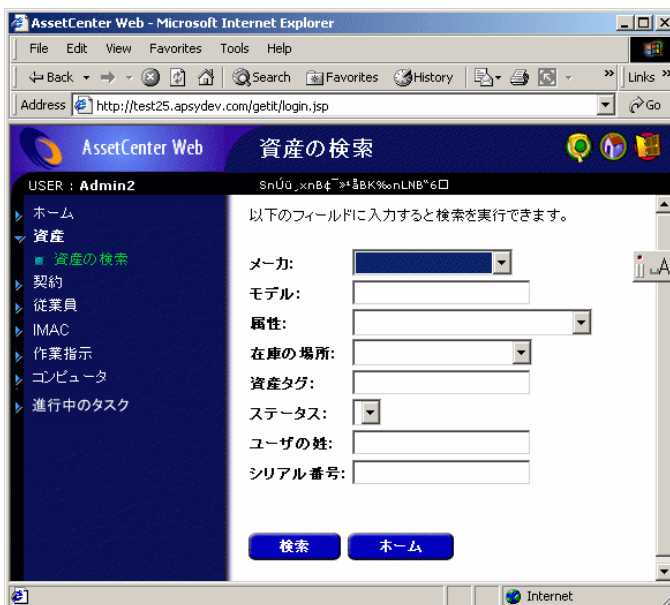
標準ソフトウェアパッケージでは、以下のウェブアプリケーションが提供されています。

- 契約：このウェブリケーションでは、契約のレコードを検索し、詳細情報を表示することができます。また、契約に関連する賃貸料、資産、経費に関する情報も表示できます。
- 作業指示：このウェブリケーションでは、ユーザに割り当てられた作業指示のレコードを検索できます。また、作業指示のレコードを更新、クローズ、または再度オープンすることもできます。

機能例

本節では、AssetCenter Webで「資産」ウェブリケーションを使用する方法を説明します。

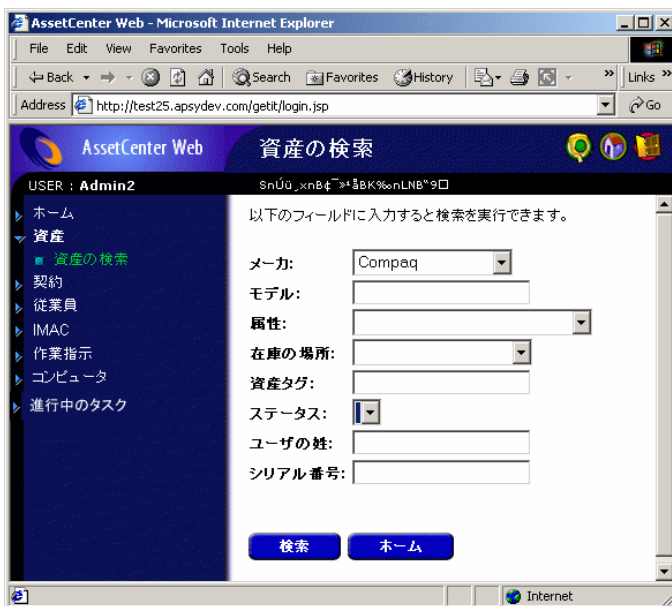
- 1 AssetCenter Webのメインメニューで【資産】メニューをクリックすると、「資産」ウェブリケーションにアクセスできます。



- 2 「資産」ウェブリケーションでは、以下の検索条件を適用して資産のレコードを検索できます。

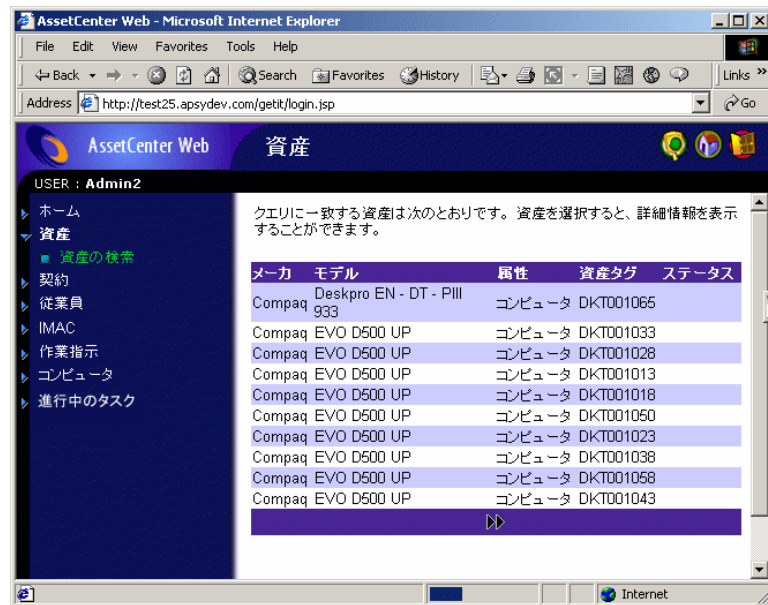
- メーカー
- モデル
- 属性

- 在庫の場所
 - 資産タグ
 - ステータス
 - ユーザの姓
 - シリアル番号
- 3 例えば、【メーカー】フィールドに「Compaq」と入力してから、【検索】ボタンをクリックします。

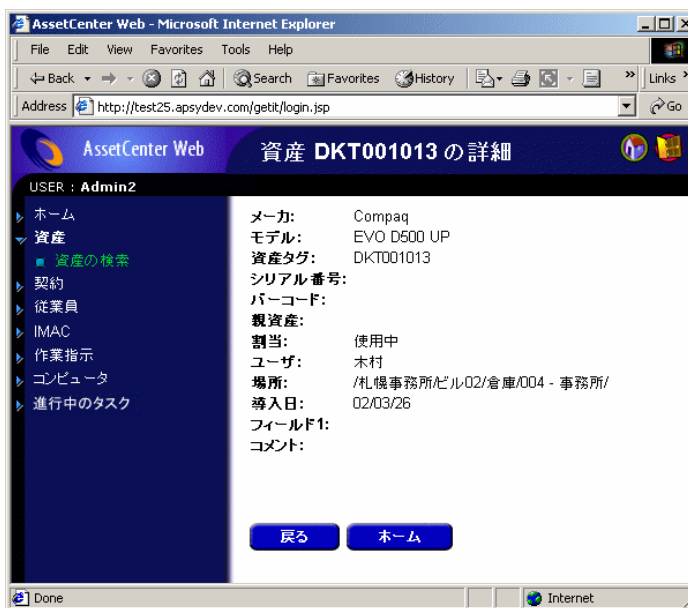


- 4 AssetCenter Webは、検索条件に一致する資産のリストを表示します。この例では、メーカーが「Compaq」である全資産が表示されます。

図 4.1. 検索条件に一致する資産のリスト



- 5 資産のリスト内で、資産をクリックすると、その詳細情報を表示できます。



表示されるデータ

本節では、AssetCenter Webで処理、表示されるデータに関する情報を記述します。

ライブデータ

AssetCenter Webでは、AssetCenterデータベースに記録されているデータと同一のデータが表示されます。AssetCenter Webは、データベースのニュースが統合されるように、HTMLページを動的に作成します。

その結果、一般ユーザは、あたかもAssetCenter Windowsプログラム経由でAssetCenterデータベースにアクセスしているかのように、AssetCenter Webを使用できます。

注意:

AssetCenter Webの使用中に、表示中のデータに対応するデータベース内のデータに変更が加えられる可能性があります。古いデータを更新するには、お使いのブラウザの更新ボタンをクリックします。

セキュリティで保護されたデータ

管理者は、特定のデータへのアクセス権限をユーザに与えます。ユーザは、自分の権限に応じて許可されているデータのみを表示できます。



May 14, 2002